

人権だより

No.301(2023.4)

繋がる

人権教育相談部・部長 岩崎 朋子

昨年、あるドラマに心を奪われた。「silent」というドラマだ。高校卒業後に耳が聞こえなくなった中途失聴者の主人公(目黒蓮)を取り巻く人間描写が非常に繊細で、同時に切なさも感じた。息子たちには「いい歳して、若者の何が分かるん?」と呆れられた。「いやいや、ときめく時間も必要だよ」と言い聞かせながらも、もう一つ私にはまった理由は別にある。

私は以前に聾学校で勤めていたことがある。あの時、聴覚に障がいのある彼らに“伝えたい”そして“分かり合いたい”という思いから一生懸命に指文字や手話を学んだ。ドラマを見ながら、手話が織りなす世界を懐かしく感じ、そして改めて“言葉”が持つ意味について強く考えさせられた。聴覚に障がいがある方にとって、聞こえない、聞こえづらいという状況下の中、彼らは手話や筆談、読唇、UD(ユニバーサルデザイン)トーク等、あらゆる手段を用いて、まさに言葉を紡いでいる。ドラマの最終回、主人公が母校のステージで次のように語りかける場面は特に印象的だ。「言葉が生まれたのは、きっと想いの先にいる誰かと繋がるためだ。」

“こころがまじわう”はずのここ、宇和島、そして宇和島南で、その“繋がる”言葉は発せられているだろうか。1日の始まりに「おはよう」。感謝を伝える「ありがとう」。素直に謝る「ごめんなさい」。周りの人の変化に気づき「大丈夫?」。頑張りに気づき「頑張ってるね、応援してるよ」。ひとりで悩みを抱えず「聞いてほしいんだけど」。そして、差別を見抜き「おかしいよ、間違ってるよ、やめようよ」。

部落差別により学ぶ機会を奪われ、のちに識字学級で文字を取り返したある方は、次のように語った。「言葉(文字)はキラキラ輝いている」と。「あいつ、ウザイ」「死ね」「キモイ」。私たちの周りでよく耳にするこの心無い言葉は、人を傷つけ、相手をそして空間を支配する。そんなことのために私たちの言葉はあるのではない。

昨年の学校生活をよりよくするアンケートや人権・同和教育学級活動、H R 活動後には、「この学校からいじめをなくしたい」「もっと差別について学んでいきたい、行動したい」という声が多く寄せられた。「自分さえ良ければいい」そんな寂しい言葉とは無縁の言葉に心が動く。想いを紡ぐ言葉から発せられる勇気ある一声、一歩は、想いの先にある誰かに必ず繋がる。そう信じて、当たり前ではない、かけがえのない1日1日を、大切に、大切に過ごしていこう。

南校人権教育相談部 自己紹介

○ 岩崎 朋子 1年1組 副担任 教科:英語 ※冒頭執筆

○ 山岡 愛 4年1組 副担任 教科:音楽

今年も、皆さんの悩みごと、困りごと、モヤモヤすること、聞いてほしいこと、どんなことでも、些細なことでもなんでもいいから相談にきてください!音楽準備室で待っています。合言葉は、「先生、解決して!」さあ、勇気を持って、ノックをしよう!

○ 速水 和幸 2年4組 副担任 教科:英語

他者感覚を大切に、自分を磨き、周りの人とうまくやっていくことはとても大切なことですね。1日でも早く、みなさんの顔を感じ、みなさんと人権の大切さをいっしょに学び、爽やかな気持ちで学校生活を送りたいと思っています。1年間よろしくお願ひします。

○ 玉田 真里子 2年2組 副担任 教科:英語

コロナの影響で、これまで当たり前でできていた様々なことが、そうではないのだと感じることが多かった数年でした。しかし、どんな時でも人に対して思いやりを持つことの大切さは変わりません。共に考えながら人権について学んでいきましょう。

○ 黒江 崇宏 3年3組 担任 教科:理科

みなさんにとってより良い学校生活とはどのようなものでしょうか。一人一人の人権が守られた学校生活であるためにも、クラスの仲間や部活動の仲間というように、身近なところから思いやりのあふれた人間関係を築いていきましょう。

人権委員会の活動を紹介します。

・「人権を確かめあう日」の放送

「人権を確かめあう日」では、月に1回発行するこの「人権だより」を読んで、みんなで人権について考えます。朝の会・SHRの時間に実施しています。毎回、さまざまな先生方がさまざまなテーマで原稿を寄せてくださいます。一人一人、人権について改めて考えてもらいたいとおもいます。

・人権集会

人権委員の生徒が参加した校外の活動について報告したり、世の中にある人権問題についてまとめた内容を発表したりします。まずは「知る」ことから始めてみてください。

・文化祭での展示

文化祭では、みなさんに人権標語を考えてもらい、その中からいくつかの作品を展示する予定です。ぜひ足を運んでください。※昨年に続き、今年も中庭に大輪のヒマワリを育てる予定です。

この他にも、さまざまな活動を予定しています。